

東京農業大学国際農業開発学科 2019年農業総合実習

本学園と連携協定関係にある東京農業大学国際農業開発学科の農業総合実習が、昨年に続き9月2日～6日の日程で開催されました。154名の同大学1年生と教職員が4泊5日で農業実習と夜間講義を行います。



世田谷キャンパスからバス3台で到着



まずは学生食堂で昼食



体育館で開講式



島崎学園長から歓迎のあいさつ



鎌を使っての稲刈り



ショウガ畑の管理



小型管理機操作練習



燻炭づくり



ワイン用ぶどうの収穫調整



ブロッコリー等の苗定植



夜間特別講義では、東京農業大学農業拓殖科(当時)から満州開拓へ派遣された大先輩のお話も伺えました。

今年4月に入学した1年生にとって最初の本格的な農業実習とのことでした。

文責:石塚